

行田 歴史系譜 324

資料がかたる
行田の歴史 24

これも座繰、あれも座繰、たぶん親戚の民具たち

郷土博物館に座繰という名前の道具が数点所蔵されています。座繰は繭から引き出した生糸に撚りをかけて糸枠に巻き取る道具です。富岡製糸場に代表される器械製糸が盛んになる前から、手工業の製糸用具として広く用いられました。日本史の授業などで、座繰製糸という用語を聞いたことのある方もいるでしょう。

当館所蔵の座繰を見てみるとハンドルに菌車、腕木と呼ばれる2本の突起など一般的な座繰の形をしています(写真左)。この形のもは上州座繰といい、前述のとおり生糸の製糸に使う道具ですが、行田では綿作をする家で綿糸の巻き取りに使う場合もあったようです。巻き取ることを目的とするのであれば、生糸用の座繰を綿糸にそのまま転用しても不思議ではありません。県内では秩父地方に絹、綿を



2種類の座繰(行田市郷土博物館蔵)

問わず機織りの糸巻き用具として腕木のない座繰を使った例があり、これは製糸用の座繰から分化した道具だといえます。

さて、ここでもう一点の座繰を見てみましょう(写真右)。これは足袋製造用の座繰で、コハゼを掛ける掛糸を巻き取り、長さを整えるために使います。一部鉄製ではあるものの、腕木のない座繰に形が似ており、機織りの糸巻き用具から足袋製造用具へとさらに分化した道具かもしれませぬ。

このような昔ながらの生活道具は民具と呼ばれています。名前が同じでも違う道具を指していたり、一つの道具を別の用途に使い回したり、というのは民具によくある話で、辞書的な情報だけでは完結しない面白さがあります。資料本体と共に当時の様子や使い方を記録することで、民具がどのように暮らして結びつき、人々に扱われてきたのかを探る手がかりとなるのです。

(郷土博物館 岡本夏実)

はじめまして



令和2年5月生まれのお子さんを募集します

- 3月1日(月)～31日(水)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、4月2日(金)午後1時30分から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和2年3月生まれのおともだち



落合 叶羽ちゃん(倉野)
令和2年3月18日生まれ
父・翼さん 母・みらいさん
「愛が止まらないよ〜!」
大好き♡



江森 悠斗ちゃん(倉野)
令和2年3月18日生まれ
父・貴大さん 母・美紀さん
「いつもニコニコ♡」
元気に大きくなつてね



木村 桜嘉ちゃん(藤原町)
令和2年3月25日生まれ
父・諭使さん 母・美加さん
「笑顔が大好きよ♡」
おめでとう♡



北岡 希彩ちゃん(荒木)
令和2年3月13日生まれ
父・清吾さん 母・理恵さん
「家族の輪の中心に」
希彩の可愛い笑顔♡



小山 春ちゃん(斎条)
令和2年3月5日生まれ
父・悟さん 母・さくらさん
「わが家の突風!!」
☆☆春一番☆☆



若松 良々ちゃん(藤原町)
令和2年3月1日生まれ
父・良将さん 母・詠保さん
「のびのび元気に」
そだつてね!!

今月の表紙

市内では、交通死亡事故が多発しています。安全で快適な交通社会を築くため、行田警察署では白バイやパトカーに乗車し、交通指導・取り締まりに当たっています。引き続き、一人一人が交通ルールを順守するとともに、正しい交通マナーを実践し、悲惨な交通事故をなくしましょう。



目指せ!友だち登録10,000人!
(現在6,000人)

行田市公式LINEの
友だち登録はこちらから!

●市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。

ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>



環境にやさしい
植物油インキ

市報ぎょうだは
再生紙を
使用しています